

JSAC NEWS



第2フェーズ活動開始

2005年10月、JSACは第2フェーズとしてカンボジア中西部バタンバン州・コンポントム州にて活動を開始しました。10月初旬からは各州で州レベルのワークショップを行い、現在郡レベルワークショップ・コミュニケーションレベルワークショップを順次実施しています。これらのワークショップの結果、11月30日現在、小型武器223丁、弾薬・爆発物396個が住民から回収されています。今後は、JSACによるコミュニケーションレベルワークショップを引き続いて実施する他、地域NGOと協力し、各村でワークショップを行い、さらなる小型武器回収を目指していく予定です。

Address:

Room No. 535, Phnom Penh Center,
Corner Sihanouk Blvd. No.274 & Solhearos St.
No. 3, Sangkat Tonle Bassac, Khan Chamkarmon,
Phnom Penh, CAMBODIA

Tel: +855[0]23 240 001/002

Fax: +855[0]23 220 330

E-mail: adm.jsac@online.com.kh

URL: <http://www.bigpond.com.kh/users/adm.jsac>

Volume 3, Issue 1

2005.12.1

〔写真〕左から州・警察官・地元メディア向けのワークショップの様子



ワークショップでは、JSACスタッフが小型武器問題への理解を深めるために小型武器の危険性・小型武器の存在しない平和な社会の有用性などを説明しました。また、今年6月に施行された小型武器法についての周知を図り、小型武器所有が違法であることを強く訴えました。地元メディアへのワークショップでは、小型武器問題についてのメディアの理解と参加を促しました。

3,430丁の小型武器を破壊



スピーチを行うEm Sam An次官

9月26日（月）、カンボジア王国内務省主催、JSAC支援の小型武器破壊式典が開催されました。式典は、シムリアップ州アンコールチュム郡にて行われ、約1,000人の州住民、カンボジア内務省次官Em Sam An氏、JSAC第1フェーズの対象地域であるオダーミンチェイ州、バンテミンチェイ州、シムリアップ州の代表者、郡知事など多くの政府関係者、カンボジア警察関係者が参加しました。

シムリアップ州副知事の挨拶で始まった式典では、第1フェーズ2年間の活動の成果として対象地域の郡知事が平和な社会への決意と責任を宣言し、その後参加者の前で3,430丁の小型武器に点火が行われました。目の前で焼却される武器を見ながら、参加した住民の一人は「武器の回収が行われ、コミュニティが本当に平和になった」と語りました。当日の式典では、JSACが支援した学校や道路などの開発プロジェクトと、州警察が保有する小型武器の保管庫の引渡式も同時に行われました。JSACは第1フェーズにおいて、11,662丁の小型武器、38,523個の弾薬・爆発物を回収し、平和な社会の持続を目的とする開発プロジェクトを55件支援しました。



小型武器は約2日間かけて焼却されます



JSACが修理を支援したダム



JSACが支援したフローティングスクール



日本小型武器対策支援チーム（JSAC）概要

2003年4月、紛争予防・平和構築無償資金協力「カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策支援プログラム」実施を目的として財団法人日本国際協力システム（JICS）によって設立。小型武器問題への包括的支援を通して、カンボジアの平和構築を支援。

日本人スタッフ4名、カンボジア人スタッフ9名（2005年12月1日現在）。